

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	吉野町	代表者名	中井 章太		
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	0746-32-3081		
担当者役職	主査	担当者氏名	鍋谷 友志	連絡先E-mail	
住所	639-3192 奈良県吉野町上市80番地の1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体情報システムの標準化・共通化について、その目的から押さえておくべきポイントに至るまでご講義していただいたので参加者は理解しやすかったと思う。
アドバイザーへの要望事項	現行システムと標準仕様との比較分析後、標準化後になくなる機能の対応に関する助言、移行経費に係る工数の妥当性検討についての助言をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年8月30日	講演(実地)	有	令和5年7月28日	887
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年8月29日	講演（実地）	15時00分	17時00分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	吉野町役場	最寄駅	近鉄吉野線「大和上市駅」	
	所在地	奈良県吉野郡吉野町上市80-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	役場職員、協業民間事業者	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体情報システムの標準化・共通化事業において、標準化対象業務の各担当者は、標準化に関する知識がほとんどない状態であり、中には情報システム担当課が標準化を進めていくといった認識を持つ者も少なからずいることが当該事業を進めていく上での課題となっている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	標準準拠システムへの移行業務が本格化する前にシステムユーザである各担当の管理職に標準化の概要を把握してもらい、各課員に移行業務に関する周知をしてもらうことで、業務にスムーズに着手してもらう。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	「自治体DXにおける標準化の意義と対応」という題目のもと、システムの標準化の意味、基礎知識、独自機能の内容、標準化で今まであった機能がなくなった場合の対応（行政サービスをやめるのか、別の方法でサービスを継続できるよう工夫するのかといったように与えられたシステムでどうやって業務をしていくか考えなければならないこと）について講義を受けた。自治体DXの意義として、現在増加しているデジタルしか使えない人への支援が必要であること、支援が必要なのはデジタルに疎いアナログ側にいる人たちという常識感にとらわれないことの講義を受けた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	自治体情報システムの標準化・共通化とは何であるかを標準化対象業務担当課内の少なくとも管理職には理解してもらうことができた。加えて、今後何をしていかなければならないか、具体的にはベンダに何を確認していけば良いかを把握してもらうことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	現行システムと標準仕様との比較分析後、標準化後になくなる機能の対応に関する具体的な検討、移行経費に係る工数の妥当性検討について、ベンダ任せにならないよう各職員が対応できるような知識の習得、体制の構築は今後の課題である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙のとおり。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	円滑に自治体情報システムを標準準拠システムに移行させる。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

